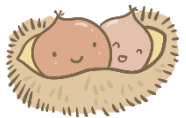


Library News



令和3年10月18日 10月号 湖南高等学校図書館

神無月 出雲大社に集まった神様は何をする？

昔の人は10月のことを「^{かなづき}神無月」と呼んでいました。神様が、出雲大社へ出向き留守になってしまうからです。しかし、出雲大社がある島根県では、全国各地の八百万の神様が集まるので、10月のことを「^{かみありつき}神在月」と呼んでいます。では、全国各地から集まった神様たちは一体なにをするのでしょうか。集まった神様たちは、人の運命や誰と誰を結婚させようかなどを話し合います。ですから、10月に島根県外にある神社にお参りしても効果はなさそうです。



多読賞 経過発表！！



Library News 9月号で紹介した多読賞ですが、ここで途中経過を発表したいと思います。

令和3年度 2年 S.R 35冊
3年間 2年 M.S 100冊

10月8日（金）の時点ではこのような結果となっています。多読賞は、令和3年度12月末までの冊数で決定します。まだまだチャンスはありますよ！

『古事記』 著：神野志隆光



司書が地味に大好きな古事記。これさえ読めば日本の神様の生い立ち、日本の成り立ちをバッチリ学習することが出来ます。日本最古にして最大規模で起こった夫婦喧嘩に、優しい姉に甘えてやりたい放題行っただの狼藉の数々はどれも読みごたえ抜群です。

司書一番のおすすめは、死んでしまったイザナミにイザナギが黄泉の国まで会いに行く場面。黄泉の醜女軍団を引き連れて夫を追いかけるイザナミ VS あの手この手で妻から逃げるイザナギ。

ちょっと難しいかもしれませんが、是非一度手に取ってみてください。

神無月に読みたい！？

これを読めば日本の神様バッチリ本



『古事記ゆるる神様 100 図鑑』著：松尾たいこ

古事記に登場する神々をゆる～いイラストで解説。古事記の名場面もサクッと読めちゃう、便利な一冊です。

司書おすすめは糞から生まれた埴輪カップル「ハニヤスヒコノカミ」「ハニヤスヒメノカミ」。男女一对の神様で、土・田畑の土壌の神様です。





図書部の先生方が学生の時に読んでいた あの頃の思い出・・・本紹介



数学科：安田知弘先生

『壁を超える技術』

著：西谷昇二 サンマーク出版

大学受験のために通っていた予備校の恩師が書いた本です。出版されたのは、私が大学に入学してから数年後であるため、予備校に通っていた頃に読んでいたわけではありません。その頃の授業内容はあまり覚えていませんが、授業の途中で話してくれた雑談などは今でも記憶の中に残っています。この本を読むと、その当時の話を思い出すことができ、懐かしく感じられるとともに、あの頃の気持ちを思い出すことができます。

数学科：五十嵐稜先生

『ドアD』

著：山田悠介 株式会社幻冬舎

〈あらすじ〉

大学のテニスサークルの仲間 8 人が施錠された部屋に拉致された。誰か一人が犠牲にならなければここからは脱出不可能。出た先にもまた次の部屋が待っている。終わりなき壮絶な殺人ゲーム。

〈感想など〉

『リアル鬼ごっこ』の著者、山田悠介さんの小説です。細かい情景描写がよりリアル感を増し、背筋がゾワゾワしてきます。

国語科：青木英明先生

『塩の街』

著：有川浩 角川文庫

ライトノベルとしては異例の文庫からハードカバーになった作品。塩害によって塩に埋め尽くされた世界の日本が舞台上、主人公たちの関係性の変化が描かれます。

「世界を救う」ことを目的に行動する人はいない。その意味が解ります。



司書：渡部加奈子

『十二大戦』

著：西尾維新 株式会社集英社

この本は私が通っていた高校の図書館で借りて読んだ本です。

当時の私は登場人物の一人、牛井の「正しいことはしようとしなければできない」この台詞に感銘を受けました。やろうと思っても出来なかった事が多かった私に、できなかったのは心のどこかでやらなくてもいい、と思っていた私の甘えが原因だと、気づかせてくれました。今でも、やろうと思っていたけどできなかった事があると、この台詞が頭に思い浮かび、甘えた私を叱責してくれます。